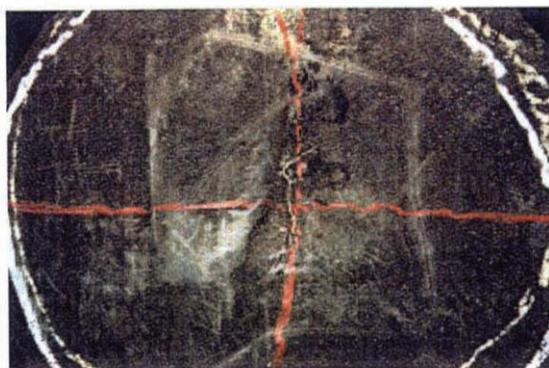


開削調査カルテ (1)

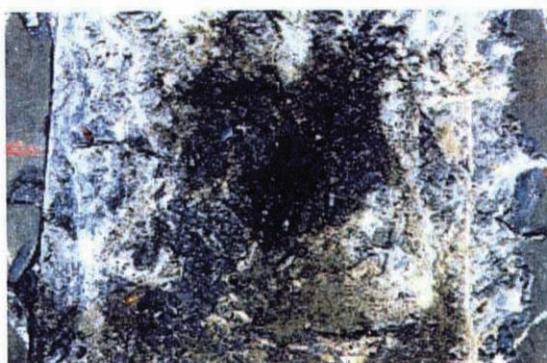
①. SP99.6-35.4 ふくれ 平成12年度調査



表面状況 頂点にクラック有り



電動ピックで開削



内部は湿潤状態



深さ6cmまで湿潤状態

項目	状況
測点	SP 99.6-35.4
損傷種類	ふくれ
ジョイントからの距離	130cm
剥離面深さ	ピックで開削したため不明。
剥離面水分	深さ6.0cmで水分有り
剥離面骨材のAs剥離	As剥離が進行している。
供試体内部状況	内部混合物は湿潤状態である。
損傷進行深さ	6.0cm

開削調査カルテ (2)

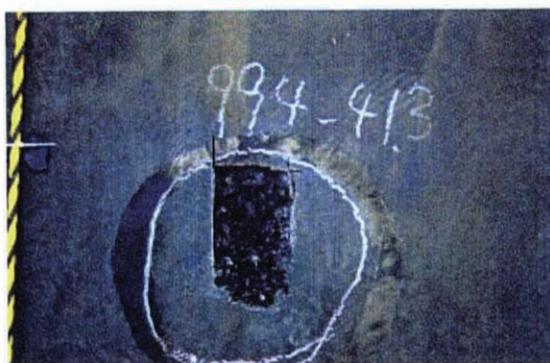
②. SP99.4-41.3 ふくれ 平成12年度調査



表面状況



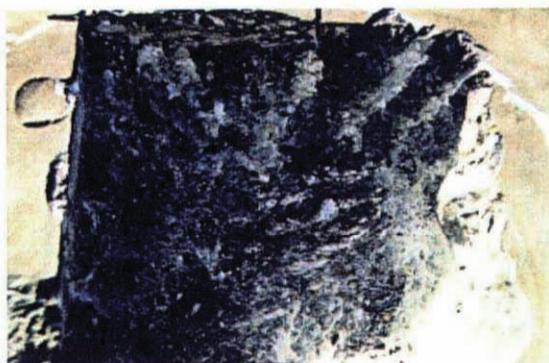
膨れの頂点にクラック有り



サンダーで縁切り後開削



深さ3cmの混合物は湿潤状態でアスファルトが剥離している



深さ6cmの混合物は乾いており硬い

項目	状況
測点	SP 99.4-41.3
損傷種類	ふくれ
ジョイントからの距離	150cm
剥離面深さ	深さ3.0cm
剥離面水分	有り
剥離面骨材のAs剥離	As剥離が進行している。
供試体内部状況	内部混合物は湿潤状態である。
損傷進行深さ	3.0cm